

# 令和六年度 中学生の「税についての作文」

沖縄国税事務所長賞 税とSDGs

石垣市立石垣第二中学校 下地 陽奈

夏休みはいいな、海で楽しく泳いだり、川あそびを楽しみ、自由に過ごすことができま  
す。「あー、こんな時間がずっと続いてほし  
いなあ。」と思います。でもいいことが続い  
た試しがありません。なんだか不安な気持ち  
が頭をよぎります。

社会の時間でSDGs（持続可能な開発目  
標）を学びました。一七の目標と一六九のタ  
ーゲットがあって、この社会を持続的に平和  
で、貧困がなく環境にやさしいものにしてい  
くための私たちみんなの目標です。私は貧困  
や平和、そして環境問題に関心があります。  
沖縄県は子どもの貧困率が全国で最も高いと  
言われています。また、テレビでは国と国の  
暴力があったり学校が攻撃されたりしてとて  
も悲しいことが起こっています。そして、地  
球温暖化が進み異常気象があちこちで発生し  
ています。いったいこのような悲しい、苦し  
い状況がいつまで続いていくのだろうか。私  
の夏休みのひとときのような心おだやかな時  
は、今だけなのでしょうか。

SDGsの目標達成には、世界各国の役割  
が必要ですが、目標達成のためには制度や政  
策の課題がたくさんあります。例えば貧困問  
題では、「貧しい人たちを守るための仕組み  
づくりや対策を行う」などの国家的な行動が  
求められています。一七項目の目標達成には  
国家的な資金を提供することが必要でその資  
金とは税金です。私たちが納めた消費税をは

じめ、その他の税金の収入が持続可能な社会  
にしていくことになるのです。もちろん、S  
DGsのみに税金を使うことはできません。  
でも、道路や施設を建設するにしてもSDG  
sを、防衛や宇宙政策にもSDGsをなど全  
ての政策にSDGsを考えて進めていくこと  
が必要だと思います。

授業では「国や地方公共団体がいろいろな  
公共サービスを提供するための資金を国民か  
ら集めるのが税」と教わりました。私たちが  
受けるさまざまな公共サービスはこの税によ  
って成り立っています。そのため、国民みん  
なで積極的に負担しあって、みんなのため  
なる公共サービスを充実させていくことが大  
切だと思います。

税は取られるものというイメージが強くあ  
りますが、それは自分本位で納めていくもの  
ではなく制度として守らなければいけないも  
のだからかも知れません。自由に納めたいだ  
けを納めていく税制度があればいいなと思  
いますが、それでは納めない人が出てきたりし  
て制度として成り立たなくなります。

また、税の使い方が分かりにくいというこ  
ともあります。それは税の使い方を国民に知  
らせていくことが必要だと思いますが、同時に  
私たちも税制度や税の使い方を理解していく  
必要があると思います。

この機会に、これから国の制度や政策に  
ついて関心を深めていきたいと思っています。